

茨城ブロック協議会

会員大会連絡会議 事業計画（案）

議長 池澤 英之

<基本計画>

茨城ブロック協議会最大の発信と表現の場である「GRID24」と「会員大会」それぞれの原点を追求し各事業を当会議が担っていきます。また、茨城ブロック協議会でなければ成しえないスケールメリットを生かしながら、事業開催地域との相乗効果を生み出します。その為に、主管LOMを含めた24LOMと協議を深めながら、メンバー及び茨城県民に熱い感動と想いを伝えるべくGRID24および会員大会を創り上げていきます。

日本青年会議所や関東地区協議会から学ぶ様々な知識や情報を、各委員会との意見交換を行い、各事業を通して分かりやすい内容で強くメンバーへ発信していきます。各事業の中で参加するメンバー間の広域的な交流や、年間を通して様々な手法・手段を活用しながらリアルタイムに情報共有することで、広域的な問題の提起や発信・実践を行います。さらに、地域住民へむけて各事業を行い、その地域住民への気づきと感動を与えることで我々JAYCEEと想いを共鳴しあい伝播することが出来ます。当会議は茨城ブロック協議会として、各事業を通して発信・実践することが、地域住民の方々との交流と理解を深め、JC運動の存在意義がより明確になると考えます。その為にも各委員会の熱い想いに耳を傾けて、当会議が目指す会員大会のあり方、すなわち4月にGRID24で各委員会が行ってきた問題の検証・問題提起の中間発表を行い、8月に会員大会で発信と実践を行っていきます。当会議は円滑な進行のサポートをする意見調整ではなく、強い意志と確かな方向性を持って各事業を創造していきます。

開催地域の活性化やJC運動の認知度を向上する為に、GRID24及び会員大会に関わる方々全員に向けて「JAYCEE」の本質を強く広く発信し、我々が創り出す結集の場を通して「気高き日本」の創造を実現します。

<事業計画>

- 1、GRID24の企画・運営
- 2、第37回ブロック会員大会の企画・運営
- 3、ブロック協議会と会員大会主管LOMとの連絡・調整
- 4、2010年度会員大会主管LOMのエントリー受付及び審査
- 5、公益性を重視した次代の会員大会の研究・調査